



八児の田植え



6月11日(金)、八児中学校の田植えが行われました。昨年は、新型コロナウイルスの影響で休校期間があり、田植えを行うことができませんでしたが、今年度は感染防止に配慮しながら、学年ごとに全校生徒で取り組むことができたことを大変嬉しく思います。また田んぼを提供していただいている大和さん、稲作指導をしていただく深町さんなど、八児中の生徒に貴重な体験をさせてくださる地域みなさんに深く感謝します。お米を育てるのには、たくさんの手間が必要。みんなで植えた苗が日々成長していくのを楽しみにしています！！



【生徒の感想より】

○中学校生活で最後の田植えをやってみて、1年生の時より達成感を感じることができました。1年生の時も稲作実行委員だったけど、何をやっていいのかわかりませんでした。しかし、「3年生になって自分ができることは何か」や「何をすればスムーズに進むか」などを考えながら行うことができました。そのおかげで稲作活動の大変さや食べ物大切さなどをより感じることができました。八児中学校では普通だけど、他校にはない稲作活動は、先生や地域の人のおかげでできていることも実感できました。田植えで植えた苗が、ひえ取り・稲刈りを通して、収穫祭で食べられることを願って、これから生活していきたいと思います。(3年生男子)

○今年が最後の田植えだったので、楽しく集中して取り組むことができた。八児中学校特有の行事なので、高校ではできないかもしれないけど、もしやる機会があれば、小・中学校で行った稲作体験学習で学んだことを生かしたい。まだ稲刈りなどが残っているので、精一杯取り組んで、中学校生活の思い出として心に留めておきたい。今日の田植えは、自分たちが米を作る第一歩なので、友達と協力して、心を込めて丁寧に植えることができたと思う。また、稲作実行委員の人たちのおかげでスムーズに進めることができたと思う。(3年生男子)

～ 輝く笑顔！泥んこ学級写真 ～

【3年1組】



【3年2組】



【1年1組】



【1年2組】



【2年1組】



【2年2組】



わかるかな？！ 『米』の漢字由来

- ① 「稲穂」を表す象形文字説 ②米粒が飛び散った形説 ③「米」作りの八十八の手順説